



リン酸化パスウェイの活性化度を網羅的に可視化！ リン酸化アレイ解析受託サービス Phospho-Totum

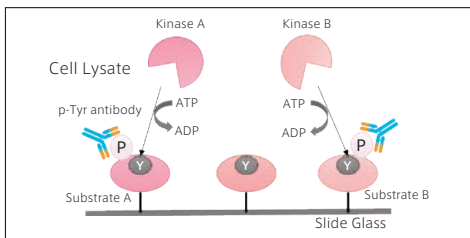
Phospho-Totum は、アレイ上にスポットされたタンパク質が試料中のチロシンキナーゼによってリン酸化された量から、細胞内キナーゼの活性化度を推定するシステムです。チロシンキナーゼに関わる 231 のシグナル伝達パスウェイを構成する 1,471 種のタンパク質をスポットした独自のタンパク質アレイを用いた測定と数理解析技術により、個々のチロシンキナーゼの活性化度合いを明らかにするだけでなく、パスウェイ全体のリン酸化パターンを推定できます。

※ご注文方法/価格などの詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。[メーカー：SOC]

ここがすごい

抗リン酸化抗体をスポットするのではなく
基質タンパク質をスポットするという新発想！

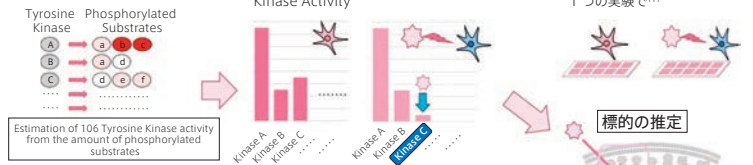
Phospho-Totum におけるタンパク質アレイ



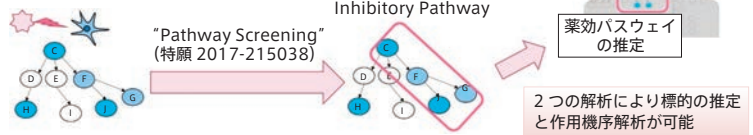
測定対象	細胞抽出液中のキナーゼによりリン酸化されたタンパク質：活性化度
対象となるタンパク質の種類	組換えタンパク質が作製可能なすべてのタンパク質：自由度が大きい

アレイから得た解析データを独自のアルゴリズムにより数理解析し
活性化/不活性化しているリン酸化経路を可視化！

チロシンキナーゼ活性化解析



変動パスウェイ解析



PREPPERS



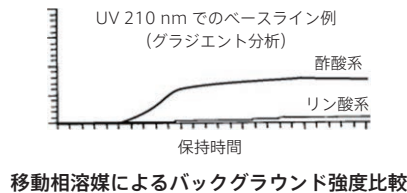
NEW

エキスパートによる質量分析受託解析サービス 液体クロマトグラフィー質量分析受託サービス

定性・定量共に、LC/MS に関する様々な受託分析に対応いたします。定性分析に関しては、データ測定のみならず未知化合物の構造推定まで承ります。

※ご注文方法/価格などの詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。[メーカー：PRP]

ここがすごい



従来の LC/MS 解析の移動相溶媒について

HPLC 用の移動相溶媒には、低波長でも検出が可能で分離能力も高いことから、リン酸塩緩衝液が汎用されてきました。一方で、リン酸塩緩衝液は不揮発性であることから、MS のイオン化部で析出してイオンの導入が困難になることや、目的成分のイオン化を阻害することから、オンラインで LC/MS の測定に用いることはできませんでした。

(株)プレッパーズでは、MS 導入前に独自開発したオンラインで脱塩することのできるソルナックチューブを用いることで、リン酸塩緩衝液をはじめとする不揮発性移動相条件での LC/MS 分析を可能にしました。この技術により移動相の選択肢を広げ、高選択、高感度化を実現しています。

